

2026 年 8 月 8 日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

肝内胆管癌切除標本における SOX9 発現と tertiary lymphoid structures の
関連解析

研究の概要

【背景】

肝内胆管癌は、肝臓の中の胆管から発生するがんで、手術で切除しても再発することがあります。現在は、腫瘍の大きさや数、リンパ節転移の有無などをもとに再発の危険性を評価していますが、それだけでは十分ではありません。

近年、がんの周囲には体を守る働きをする免疫細胞が集まって小さな組織（tertiary lymphoid structures：TLS）ができることが報告されています。この組織は、がんに対する免疫反応や治療成績と関係する可能性が注目されています。

また、SOX9 というたんぱく質は、肝内胆管癌の悪性度や浸潤しやすさと関係する可能性が報告されています。

【目的】

この研究では、肝内胆管癌の切除標本を用いて、SOX9 の発現と tertiary lymphoid structures の有無や成熟度との関係を調べます。あわせて、これらが術後の治療経過や再発とどのように関係するかを検討します。

【意義】

この研究により、肝内胆管癌において再発しやすい患者さんの特徴を、病理組織や免疫の状態からより詳しく評価できる可能性があります。将来的には、術後治療の選択や経過観察方法の検討に役立つことが期待されます。

【方法】

長崎大学病院で手術を受けた肝内胆管癌の患者さんを対象に、診療録に記載された情報と、すでに保存されている病理標本を用いて解析します。

病理標本では、SOX9 や免疫細胞に関係する項目について免疫染色を行い、がんの組織内の免疫環境を評価します。新たに採血や検査をお願いすることはありません。

対象となる患者さん

2000 年 4 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに長崎大学病院において肝内胆管癌に対する切除手術を受けた患者さんのうち、病理標本が保存されており、診療録から術後経過を確認できる方が対象です。

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・年齢、性別、既往歴、合併症などの患者背景
- ・腫瘍の大きさ、数、部位などの腫瘍に関する情報
- ・血液検査結果
- ・手術方法、手術時間、出血量などの手術に関する情報
- ・術後の治療経過、再発の有無、治療経過に関する情報

●研究に用いる試料

本研究では、手術の際に採取され、通常診療の過程で作成・保存されている病理標本を用います。

この標本を用いて、SOX9、CD20、CD21、CD23、BCL6、CD8、CD4、FOXP3、CD68、CD163 などの免疫染色を行い、がん組織の免疫環境を評価します。新たに試料を採取することはありません。

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は、下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。

外部への試料・情報の提供について

本研究では、免疫染色または画像解析を行うため、必要に応じて病理標本または画像データを外部委託機関へ提供する場合があります。

その際は、個人が特定されないよう識別コードを付したうえで提供し、氏名や住所などの個人情報提供は提供しません。

提供先、提供内容、提供方法の詳細についてお知りになりたい方は、下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。

試料・情報の利用開始予定日／提供開始予定日

本研究は 2026 年 8 月 14 日より、研究に用いる試料・情報を利用する予定です。

あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2029 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学外科学講座 肝胆膵・移植外科 氏名：江口 晋 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7316
試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、試料・情報等の利用停止／他機関への提供停止の申し出について】 長崎大学外科学講座 肝胆膵・移植外科 右田 一成 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7316 FAX 095（819）7319	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	